

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 吸引器用キャニスタ (34858000)
アトムディスプレイナー

再使用禁止**【禁忌・禁止】**

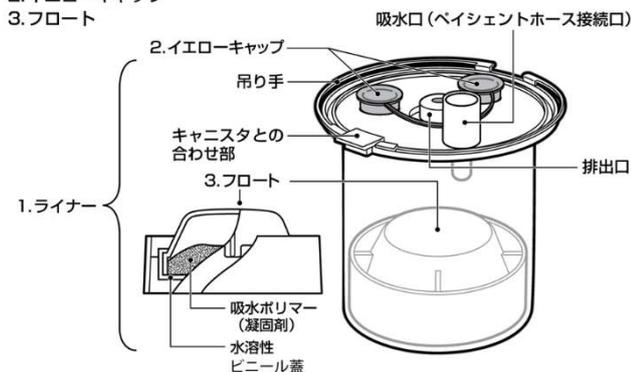
1. 再使用禁止。[感染防止のため]
2. 本品を使用する前には必ずヨックス S401D の取扱説明書と添付文書および本添付文書をよく読み、理解された上で正しく使用すること。[記載事項に従わないと重大な事故に結びつくことがあるため]
3. 本品はヨックス S401D に使用する専用のライナーである。他には使用しないこと。[正常な機能や安全を保てなくなるため]
4. 本品は、ヨックス S401D のキャニスタボトルにセットし外科手術や治療などによって生じる血液、痰、生理食塩水などの汚物を吸引し、固化させる排液収集バックである。[再使用は行わないこと。感染の原因となるため]
5. 本品は樹脂製品である。穴を開けたり、高温にさらしたりしないこと。[汚物の飛散、フロート作動不良によるアウトレットバルブへの吸引などにより感染の原因となるため]
6. 本品内の汚物が 500mL の「Full」になる前に吸引を中止すること。[満杯まで吸引すると、医療ガス配管設備及びアウトレットバルブが汚物により汚染されることがあるため]
7. 本品は、ディスプレイザブル製品である。[再利用は絶対しないこと]
8. コントローラーの調整ハンドルを反対方向に回転させ真空計の目盛り「15」程度に設定し、ペイシェントホース先端で吸引を必ず確認してから使用すること。[正常な機能や安全を保てなくなるため]
9. 当社の純正部品以外は使用しないこと。[正常な機能や安全を保てなくなるため]

【形状・構造及び原理】

本品はバッグ及びフロート(凝固剤)から構成されており、ヨックス S401D (届出番号 10B2X00014C00009)に使用するライナーである。

1. 形状

1. ライナー
2. エローキャップ
3. フロート



寸法 : $\phi 95 \times 135\text{mm}$
容積 : 500mL(ライナー実内容積 500 \pm 100mL)
重量 : 96 \pm 10g

2. 性能

入口吸引圧力 0kPa \sim 80kPa

3. 原理

真空吸引器(ヨックス S401D)からの吸引圧により、体液等の汚物を吸い込みライナーに貯留させる。貯留された体液が満杯になると吸引が停止する。また、汚物が凝固剤入りフロートに触れるとフロート内部から凝固剤が流出し汚物が凝固される。

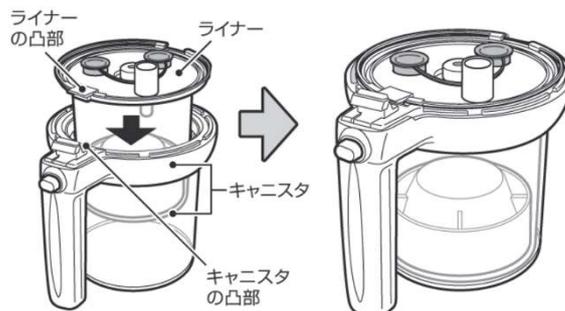
【使用目的または効果】

体液の回収のために吸引器とともに使用するキャニスタである。本品は単回使用である。通常プラスチック製で、折りたたんだ状態で提供され、使用前に組み立てるよう個別にパックされているものや、完成品として提供されるものである。適用される環境法規に従ってさまざまな方法で廃棄する。汚染防止のための逆止弁がついたものもある。

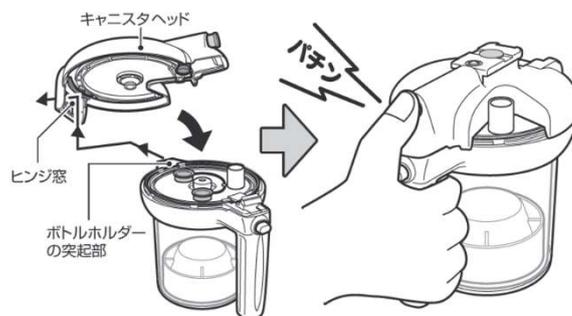
【使用方法等】

1. 使用準備

- 1) ライナーをキャニスタにセット
 - ① ライナーを用意する。
 - ② 本体のキャニスタヘッドを外しキャニスタにライナーを差し込む。
 - ③ ライナーの凸部とキャニスタホルダーの凹部を合せ差し込む。
- 2) キャニスタヘッドとキャニスタのセット

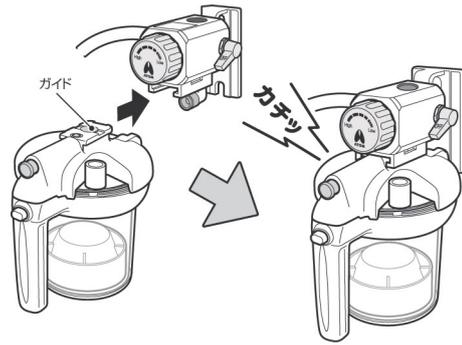


- ① キャニスタホルダーの突起部をキャニスタヘッドのヒンジ窓に差し込む。
- ② キャニスタヘッドを「パチン」と音がするまで押し下げる。(セット品をキャニスタセットと言う)

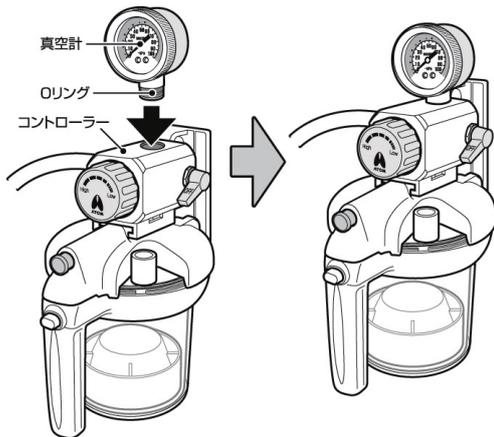


3) コントローラーにキャニスタセットを接続する

- ① キャニスタヘッドのガイドとコントローラーのガイドを合わせ、「カチッ」と音がするまでスライドさせる。



- ② コントローラー上部の穴に真空計を差し込み取り付ける。

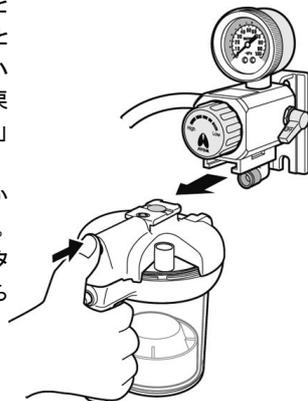


2. 操作方法

- 1) コントローラーにキャニスタセットを接続した状態でコントローラー背面のハンガーをアウトレットパネルに取り付ける。
- 2) 一次側ホースのアダプターを吸引アウトレットに差し込む。
- 3) ペイシェントホースをライナーに接続する。
- 4) 吸引の開始
 - ① コントローラーの開閉ハンドルをON側(上側)の止まるまで強く回し、全開にする。
 - ② コントローラーの調整ハンドルを反時計方向に回転させ、吸引を開始する。
 - ③ ペイシェントホースを閉塞させ、真空計の目盛を「15」程度に設定し、ペイシェントホースの先端に親指の腹をあて吸引ができるか確認する。
 - ④ ペイシェントホースを閉塞させ、調整ハンドルにより必要とする吸引圧に設定し、ペイシェントホースの先端から吸引する。
- 5) 吸引の中断及び停止

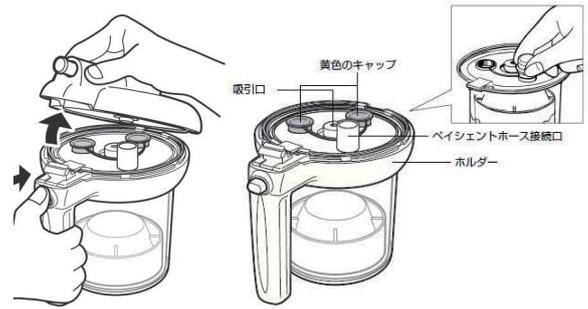
- ① 吸引を一時的に中断したいとき、または短時間使用しないときにはコントローラーの開閉ハンドルを下げて「OFF」側に戻すか、調整ハンドルを「LOW」側いっぱいに戻す。

- ② 使用後は速やかにライナーからペイシェントホースを外す。グリップを握って「カラーボタン」を押し、コントローラーからキャニスタを外す。



3. 使用後のお手入れ

- 1) ホワイトボタンを押して、キャニスタヘッドを外す。
- 2) ライナーの「吸引口」と「ペイシェントホース接続口」を付属の黄色のキャップでしっかりと密閉する。



- 3) ライナーの吊り手を持って、キャニスタから取り出し所定の処理場所に運ぶ。
- 4) 汚物が付着したまま放置しないこと。汚物が固化し洗浄しにくくなると共に故障の原因になる場合がある。直ちに汚物を除去し、必要に応じてキャニスタ、キャニスタヘッド、ならびに周辺部品を洗浄および消毒する。

【使用上の注意】

1. ライナーとキャニスタボトルおよびキャニスタヘッドは確実にセットすること。
2. チューブ類を抜き差しするときに無理な力を掛けないこと。
 - 1) ライナーのセットは机上で行う。
 - 2) ライナーは確実にセットすること。



【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - 1) ライナーはポリ袋などに収納し、所定の保管場所にて保管すること。
 - 2) 保管場所の条件:高温、ほこり、水、湿気等がない場所であること。温度、ほこり、湿度、風通し、塩分、いおう分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所であること。化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。

【取扱い上の注意】

ライナーを転倒及び落下等の衝撃を加えないこと。

【保守・点検に係る事項】

ライナーは使用前に必ず下記のことを目視で確認する。

1. ライナーに亀裂、損傷及び変色、劣化、落下等による変形等がないか。
2. ライナー内にセット部品が外れておちていないか。
3. ライナー内にフロート等の部品がセットされているか。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 株式会社小池メディカル
電話 : 03-5662-6605(代)